

【拠点整備部会】

1、 部会開催状況

2018年 第1回 6月21日（木） 第2回 7月19日（木）

第3回 8月23日（木） 第4回 9月20日（木）

第5回10月29日（月）

2、 活動内容およびこれまでの成果

① 地域生活支援拠点の役割を担える可能性のある資源の把握と整理

相談・体験の機会や場所・緊急時の受入、対応・専門性・地域の体制作り に分けて当市の資源の把握と整理を行った。対応できる役割を担う資源があることが確認できたため、今後既存の資源をうまく活用していくための協議が必要。

② 成年後見、権利擁護啓発ハンドブックの活用

①の作業の中で、以前権利擁護部会で作成された「成年後見、権利擁護啓発ハンドブック」が十分活用できていないことが課題として挙がる。印刷製本ができていなかったことが原因のひとつであるため、次年度再発行できるよう当部会で予算を取ることとした。

3、 今後の協議内容

① 既に地域生活支援拠点を整備している他市町の状況を調査・分析

② 他市町の状況を参考にしながら、当市に合った整備内容を討議

※ 2019年2月20日自立支援協議会までに、当市のかたち（多機能拠点か、面的整備か、独自案による整備か）を協議し、提案することを目指す

【資源開発部会】

1. 部会の開催状況

2018年 第1回 6月13日(水) 第2回 7月31日(火)
第3回 9月3日(月) 第4回 10月1日(月)
第5回 11月5日(月)

2. 活動報告及び協議事項

○愛媛県作成「障がい福祉に関するアンケート調査票」、四国中央市作成「障がい者福祉アンケート」などを参考に「当事者及び家族等のニーズ把握」をどのようにするかを協議した結果、当事者・家族のニーズだけでなく、支援者として感じる課題等もあがってきた。

↓

当事者・家族・支援者向けのアンケート調査を実施する。

○支援者向けアンケートの作成、配布

・アンケート内容

項目ごとに、理由も合わせて自由記述

- ① サービスとしてはあるが、「足りていない」「もっと、あればいいのに」と思うサービス（暮らし、日中活動、就労、余暇活動、その他）
- ② サービスとしてはないが、「あったらいいな」と思う社会資源（暮らし、日中活動、就労、余暇活動、その他）
- ③ 自由記述

・配布先

障がい福祉サービス事業所、医療機関などに各部会員が訪問、郵送。

【提出締切：11月22日(木)】

3. 今後の活動予定

- 支援者向けアンケート結果整理
- 家族向け、当事者向けアンケートの作成

【地域共生部会】

1、部会開催について

月1回程度実施（原則 第3月曜日 15:00～16:30）

第1回 6月18日 第2回 7月23日 第3回 8月20日

第4回 9月18日 第5回 10月15日 計5回実施済

2、活動内容及びこれまでの成果

①ニーズに対応するサービスの充足の方策検討

市内各サービスの利用状況と実態把握を行うため、アンケートを実施（集計中）

②福祉・介護等関係機関連携強化

○四国中央市介護支援専門員連絡協議会研修会にて講演依頼あり。

⇒ 部会員で内容を検討し、当日は部会長が講演を担当し実施した。

2018年9月14日（金）15:10～15:40 福祉会館4階 多目的ホール

講演：『障がい者福祉について』

○『支援者研修会』の開催

2018年9月25日（火）19:00～21:00 福祉会館4階 多目的ホール

内容：話題提供）『連携』～つながっていくこと～

座談交流会）テーマ別グループワーク

7項目のグループに分かれ（16グループ）、医療、福祉、介護、教育関係等市内の支援者が制度で途切れない支援の継続を目指し、人が繋ぐ支援体制を構築するため、顔が見える関係作りを目標に、実施した。

参加者：102名（120名の申込み有）

③住民理解促進

○住民参加を伴う研修会（あなたも支援者、わたしも支援者）の開催

⇒ 地域住民にも広く参加を案内する。

例年通り、市内の事業所に事業所案内、出店、作品展示等を依頼し、当事者ともふれあい、交流しながらの研修会を実施する。

⇒ 「心のわ」より共同開催の申し出有。

開催日：2019年3月2日（土）

開催場所：市民交流棟1、2階

内容：『私の、私のまちの防災対策』

体験型の研修会を企画中

◎体験コーナー（案）

○防災センター災害体験、○心臓マッサージ等心肺蘇生体験

○ハザードマップの見方、○身近にあるもので防災グッズ作り 等

◎我が家の防災グッズコンテスト（案）

メイン⇒ ◎シンポジウム もしくは 避難所作り体験

3、今後の課題

上記についての協議。

平成30年度

障がい者支援者研修会

<話題提供>

『連携』～つながっていくこと～

送り手、受け手の思いや課題の事例紹介

<座談交流会> 参加者全員

目標： つながる
顔が見える関係作り

平成30年9月25日(火)

19時～21時(受付18時半～)

四国中央市
福社会館4階

テーマ別グループワーク

- ①在宅生活中の方への支援
- ②施設入所中の方への支援(入所・退所時を含む)
- ③災害時の支援
- ④制度のはざまの方への支援
- ⑤病院受診時、入院時の支援
- ⑥家族支援(2人以上の支援が必要な方がいる家族)
- ⑦診断・障がい認定を受けていないが支援が必要な方への支援

事務局： 四国中央市役所 生活福祉課 障がい福祉係
加地 0896-28-6023

【特別設置部会】

1. 部会開催状況

2018年	第1回	6月26日(火)	第2回	7月19日(木)
	第3回	8月9日(木)	第4回	9月6日(木)
	第5回	10月2日(火)	第6回	11月6日(火)

2. 他施設見学

2018年	8月	2日(金)	社会福祉法人澄心	共同生活援助ばあゆ
2018年	10月	9日(火)	社会福祉法人聖風会	障害者支援施設道前育成園
			同	障害者支援施設ていずい
			同	就労継続支援A型野菜工房
			同	同 カフェ風の杜

3. 討議内容

- 生活体験施設及びグループホーム（共同生活援助）については、仕組みや現況が解らないということで「ばあゆ」の見学をすることとなる。
- 現場支援員による太陽の家の今後を考える会が並行して開催されることとなる。
- 現施設の残存耐用年数を考慮すると、先ずは拠点施設の整備が急がれる。
- 生活施設なので、小規模、全個室、ユニット方式、小舎が望ましい。
- 定員規模は、40名が望ましく、公立と民間で分担する提案に賛成である。
- グループホームについては、既存のものを利用できないだろうか。
- 移築するにしても、地理的な場所が明示されないと、具体的には検討しにくい。
- 公立部分についてあえて言えば、改築が次の数十年は、更なる改築は不可能であろうから、先進地の研究をし、現時点で考えられる、最も良い設計にしていきたい。
- 意思決定支援については、報告書のスキームが良いが、それを担保する職員研修をしっかりと継続実施するシステムにしておくべきである。

4. 今後の予定

- 跡地利用についての討議

【相談支援専門員連絡会】

1. 部会開催状況

2018年	第1回	4月26日(木)	第2回	5月30日(水)
	第3回	6月27日(水)	第4回	7月27日(金)
	第5回	8月28日(火)	第6回	9月25日(火)
	第7回	10月30日(火)		

2. 活動内容

- ・事業所マップ第2版の配布
- ・法改正に伴う、新サービスや基準等の学習会
- ・被災地支援の支援者派遣報告
- ・各相談支援事業所からの困難事例の情報共有
- ・自立支援協議会専門部会の活動状況の共有と意見交換

3. 今後の予定

- ・月1回の開催予定
- ・災害時個別支援プランの進捗状況
- ・相談支援の質の向上に向けて（困難事例の状況共有、事例検討）
- ・自立支援協議会への積極的参加